



2010年12月22日

## ほ っ と ニ ュ ー ス No.38



上山高原エコミュージアムの“ほっ”なニュースをお届けします。

### ◆シイタケ出て来てね！～植菌体験プログラム～

上山高原エコミュージアムでは、特産品つくりと自然再生への取組の一環として、伐採した灌木を利用したシイタケ栽培を行っています。今年も11月28日に体験プログラムとして、シイタケ菌の植え込み作業を行いました。

一般参加の小学生、女性方7名と会員10名で一緒に行いました。直径約20cm、長さ約1.2mの原木に、手作業でシイタケ菌を植え込んでいきます。慣れない作業でときどき休憩をはさみながら、約300本のホダ木に植菌していただきました。寒い天気もなんのその、お昼には「地もと米のおにぎり」と「温かいうどん」で交流を深めました。作業終了後は、苦勞して植えた原木1本ずつをお土産に帰っていただきました。子ども達にはなかなかできない体験、来年出てくるシイタケに期待を寄せています。



また、上山エコでは、シイタケ原木約5000本を使って、乾燥しいたけ・生シイタケを販売していますが、古くなった原木の更新作業を12月2日までかかって終わりました。トータル1,150本の植菌！！ 保全部会と協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

### 📷 上山エコ リポート&リポート

#### □かざら編み籠づくり(11/21)

講師には田中千鶴子さん(田中)をお願いして、ご夫婦参加も含め6人が体験。みなさん初体験の方ばかりでしたが、ご希望の果物やパン用の籠作りに挑戦しました。細かい作業の中にも、結構、力のいる作業もあります。わきあいあいと取り組みました。最後はニス塗りをし、昼食もはさんで仕上げました。



「なかなか上手にできないなー」と言う反面、自分で作った作品に自画自賛もあり、大変良かったです。

#### □世界ジオパークを学びました(11/29)

世界ジオパーク認定について、上エコ、区長会、青少年協と共催で研修会を開催しました。

上山高原、畑ヶ平高原周辺も「山陰海岸ジオパーク」エリアであり、当地域の数多くの滝、有数の「昆虫化石」など、自然・地質などについて学習を深めました。講師には、新温泉町ジオパーク館・谷本館長をお招きし、歴史、様々な地質・地層、これら資源の生かし方など、判りやすく熱心に講演頂きました。町内の機運が高まり有意義に活用されることに期待しています。

講師には、新温泉町ジオパーク館・谷本館長をお招きし、歴史、様々な地質・地層、これら資源の生かし方など、判りやすく熱心に講演頂きました。町内の機運が高まり有意義に活用されることに期待しています。



#### □アンテナショップ「ゆむら屋」オープン

新温泉町商工会では、神戸市中央区に温泉地域の商品を販売する店舗をオープンしています。上山エコの乾しシイタケや干しいもも販売されています。様子を見に行ってみると、元町から近くの道路沿いで人通りもそこそこ多い場所でした。新温泉町と上山エコのピーアールに役立ってほしいと願っています！



## 1月～2月のプログラムご案内

### かんじきつくりと鳴瀧ハイキング

- 日 時 1月23日(日) 集合：ふるさと館 午前9:00
- 参加費 大人1,500円、子ども1,000円
- 定員 15名以内
- 持ち物 弁当、飲み物、作業等に必要な服装



### 海上かんじきハイキング

- 日 時 2月13日(日) 集合：ふるさと館 午前9:00
- 参加費 大人1,000円、子ども500円
- 定員 30名以内
- 持ち物等 弁当、飲み物、作業等に必要な服装

## 12/26 朝市感謝デー!

今年スタートした朝市は、12月26日(第4日曜日)のあとは、春まで休みます。26日はこれまでの感謝を込めて「餅つき、ぜんざいの無料サービス」あります。たくさんご来場下さいね。

来年の朝市にも、多くの方の出品をお願いします。

### 炭焼きも始まりました

灌木利用と炭焼き技術の伝承をして行きたい。もはや炭焼きは「巧みの術(技術)」である。自然木の再利用と、技の再生・伝承にがんばっています。

炭焼きプロジェクト

(代表：植田光隆)

## エコミュージアム リレー報告 その29

～保全活動が終了～ 保全部会長 田畑 修



毎年行っている上山高原の自然再生のための活動が終了しました。4月、山焼き(火入れ)から始まり、暑い時期でのササ刈り、灌木伐採の作業でススキ草原の復元(14.4ha)、秋には、ブナ林の再生のため、人工林、杉の間伐作業(3.2ha)をし、その後、ブナ苗の植樹作業(1,180本)を行っています。

特に、今年の夏は猛暑であったため、体調管理に気を配りながらの作業で、保全部会のみなさんには大変ご苦勞をお掛けしました。また、部会員のまとめ役をして、現場管理、作業の進行に気を配った「監督員」の方には、無事作業が終えたことに感謝しています。



年々、高齢化が課題となっていますが、地域あげて自然復元、再生にがんばりたいと思っていますので、益々のご協力をお願いします。ご協力いただいた方々、たいへんご苦勞様でした。結果、ススキ草原は見事でした!



### 事務局だより

上山高原、畑ヶ平高原も、冬支度完了です。この間まで和ましてくれた木々の賑いも、全て落葉となりました。

来春まで堪え忍んで、また我々に元気を与えて下さい。激闘(冬)の木々、ガンバレ!

来年は「兎年」。人に優しい年、良いことが跳びはねるような年を祈りたい。良い年をお迎え下さい。

### ★年末年始の営業など★

年末年始29日から1月2日まで休館です。(また、毎月火曜日は休館日です)。



## エコミュージアムのたからもの

### No.21 鶴滝 (滝紹介シリーズ第4回)

畑ヶ滝林道沿いの滝の中に「鶴滝」があります。細い谷を蛇行しながら落ちてくる滝です。細長く狭い谷をよれよれに落ちてくる上品な姿をしています。少し存在感の薄い滝のようです。しかし、この滝は見る時期によってはまた違う趣を感じることができます。時期はずれに見てはいかがでしょうか。普段は、林道上部の流れしか見れませんが、滝向かいの林道から、雑木の合間を覗いて見ると鶴滝が下まで繋がっています。上流から下流まで約60mにもなります。ただし、若葉がでる前と落葉の後にしか見ることができません。(上山エコ 田中 信一)



絶滅したとみられていた秋田県田沢湖の固有種「クニマス」が山梨県の西湖で生存していたことがわかりました。70年ぶりの大発見ということで、関係者や地元の人達の喜びはいかばかりかと思えます。戦時下、水力発電のための強酸性の河川導入により田沢湖は死の湖となりました。地元では中和の努力が続けられています。いつか里帰りできる日が来ればいいですね。

特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム

事務局 上山高原ふるさと館内

〒669-6953兵庫県美方郡新温泉町石橋757-1

TEL(0796)99-4600 FAX(0796)99-4601

E-mail:ueyama-eco@yumenet.tv

http://www.ueyamakogen-eco.net.